



CONTENTS

- P.2～3・・・もっと知りたい！サポセンのこと NPO 講座・ボランティア塾
- P.4～5・・・よるカフェ Month!
- P.6・・・[連載] NPO 運営のアレコレ - 「NPO の組織いろいろ」
- P.7・・・イザ！カエルキャラバン！後方支援 / [連載] さぽちゃんが行く！
- P.8・・・ちがさき市民活動サポートセンターからのお知らせ

もっと知りたい！サポセンのこと

『市民活動応援プログラム』～実施報告～

2015年10月～2016年1月

NPO 講座「ソーシャルビジネス入門講座」

～Vol.1 理論から学ぶ～



日時：10/17(土)15:30～17:30
場所：ちがさき市民活動
サポートセンター
参加者：29名
講師：山岡 義卓さん
(神奈川大学経営学部准教授)

ソーシャルビジネスの定義、意義、通常のビジネスとの違いなどについてスピード感のある熱のこもった講義をしていただきました。名前が知れ渡っている割には本質がわかりにくいソーシャルビジネスですが、いくつかの

切り口からの理論的な話と合わせて、実際に行われている具体事例の紹介もあり、明確なイメージを持つことができたのではないかと思います。

後半は参加者各自が抱えている社会的課題をもとにビジネスプランを作成。短い時間でしたが、皆真剣な眼差しで取り組んでいました。ソーシャルビジネスの面白さ、難しさを垣間見ることができたのではないのでしょうか。たった2時間の講座でしたが、密度の高い時間だったと思います。アンケート結果では、さらに勉強してみたいという人が半数以上を占めました。



～Vol.2 実践から学ぶ～



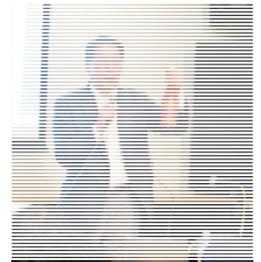
日時：10/24(土)17:30～19:30
場所：ハスキーズギャラリー
参加者：34名
講師：薬品 孝久さん
(NPO法人湘南スタイル
理事長)

湘南スタイルは、茅ヶ崎で、地域の資源を活用して街の活性化に貢献しているNPO法人です。会場は満杯状態の中、ソーシャルビジネスの根本は相互扶助の精神であること、それに基づいた仕組みや消費者の立場で体験し

てみるのが大事など、実践と経験に基づいた独自のソーシャルビジネス観を語っていただきました。

食と農をベースにユニークな商品を創り出してきた湘南スタイルですが、今に至るまでにいくつもの失敗や間違いなどもあったことを率直に語っていただき、これから始める人に大きなアドバイスとなったと思います。

「ソーシャルビジネス起業家、出でよ」という薬品さんの熱いメッセージが全体を通して伝わってくる講座でした。



担当者から
ひとこと

2回の講座を通して、世代を問わずソーシャルビジネスへの関心が高いことが実感できました。今後、茅ヶ崎でどのような支援が可能なのか、真剣に議論を重ねていく必要があります。

～2016 予告～

2/6(土) 思いが伝わる！プレゼンテーション基礎講座



講師は、認定NPO法人ハンズオン！埼玉 副代表理事の吉田知津子さん。ドラマ「北の国から」の広告制作など、多くのCM広報に携わった経験も。本当に人に伝える、ということの根っこの部分を皆さんと一緒に考えていきます。“ゆっくりでも、小さな声でも、思いを心からわかってもらいたかったひとりの人に向けて伝えていくこと。そして、そのたったひとりの人とは誰ですか？”

▶13:30～15:30 @ちがさき市民活動サポートセンター 参加費：500円

3/19(土) NPO 法人会計

個別無料相談会

協力：一般社団法人
公益アシストかながわ
先着：6団体

(1団体50分程度)

▶14:00～16:50

@ちがさき市民活動サポートセンター



「ボランティア塾」 in 鶴嶺高校

日時：10月9日（金）

場所：鶴嶺高校各教室

参加者：1年生 400名対象

今年もテーマは「災害」～3.11を忘れないために～

ボランティア塾は、高校生の“知りたい”気持ちと、団体の“伝えたい”気持ちをつなぐ体験型授業です。

第一部は全体学習@武道場。ゲストは鶴嶺高校 OG 菊池モアナさん（大学2年生）。『高校生だからできること』と題し力強く語ってくれました。

ボランティア塾をきっかけに社協のボランティアバスで南三陸町へ行ったモアナさんたち4名は、2年生の夏休みには同学年20名と現地の方々を元気づける交流会を企画（TAJ主催）。部活のコーチからは「行って被災地の何が変わるの？」と反対され、友人は親から放射能の心配をされるなど、いくつもの壁がありました。時間をかけて説得し、なんとか現地に行くことができました。「理由なんて本当に小さなことでもいい。少しでも興味がある

なら絶対にチャレンジしてみるべき。その経験は必ず今後の自分に生きてくる」と話すモアナさんは、今も南三陸の方々と交流を続けています。

会場では、南三陸で一緒にガテン系のボランティアをした大西あやみさん（現3年生）のボイスメッセージも流れ、生徒たちには“身近な”話となったようです。

第二部は、各教室で団体が講師に。生徒たちは、「災害」を切り口にしたグループワークや団体固有の体験をし、「地域社会の課題」を学ぶ機会となりました。



ゲスト：菊池モアナさん



授業の様子（防災カルタ）

Team Aid for Japan～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア、湘南子どもフォーラム懇談会(SCF)「わーく」編集部、学生リーダー塾 HILS、防災スイッチオン!プロジェクト、ネパールとの架け橋「ねばるば」、ヒロシマを語る会-神奈川、茅ヶ崎・宮澤賢治の会、アートケアひろば、NPO法人 発達サポートネット バオバブの樹、どんぐりさんの表現あそび、茅ヶ崎市聴覚障害者協会/茅ヶ崎手話サークル 松の会、NPO法人 ウェルフェアポート湘南、筆記通訳サークル「虹」、一般社団法人 アステム湘南スポーツソサエティ（参加14団体、順不同）

視察・研修受入／講師派遣

- 10/6～10 神奈川県職員 NPO 活動体験派遣研修 1名
- 10/7 茅ヶ崎市新採用職員(前期②)研修講座 17名
- 11/16 セカンドライフセミナー「市民活動について」@シルバー人材センター 15名
- 11/25 文教大学国際学部国際観光科 鈴木ゼミ 12名
- 11/30 ふじのくに西部 NPO 活動センター 視察 2名
- 12/10 ちがさき健康づくり講座 15名
- 1/7～12 (5日間) 茅ヶ崎市職員 NPO 派遣研修 1名
- 1/14～19 (5日間) 茅ヶ崎市職員 NPO 派遣研修 1名

茅ヶ崎高校 ボランティア同好会

同好会の活動日に毎月1回、サポセンで活動を始めて3代目。ユースボランティアやワイワイまつり関連を中心に、得意を生かして若い空気を吹き込んでくれる、サポセンの心強い味方です！

～2年 石黒 舞果さん～

普通の高校生活を送っていたら関わることのできない人と関わったり、できない作業ができて楽しくやっています。毎月来るのが楽しみです。

～1年 岩城 翔太さん～

今まで「ボランティア」と無縁だった自分にとって、毎回初めてするような手伝い(ボランティア)ができて、とても楽しく活動する事ができています。

ワカモノが NPO を体験！大学生インターン受入 9/21～1/10

一定期間継続してワカモノ（高校生～30歳未満）が県内の NPO 等で市民活動に参加。ちがさきサポセンでも1名を受入れ、館内の事務作業やイベントサポートなど、様々な活動をしてもらいました。

～藪内原さん（日本大学 生物資源科学部 植物資源科学科3年）～

最初の頃の私は、うまく仕事ができるかなどといった不安でいっぱいでした。しかし、センターのスタッフの方々が優しく仕事を教えて下さったおかげで、だんだん不安が無くなっていき、楽しく仕事をこなせるようになっていきました。3ヶ月ぐらいの短い間のインターンでしたが、ずっと思い出に残る、素敵な経験ができました。

「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2015」

主催：認定 NPO 法人 藤沢市市民活動推進連絡会、公益財団法人 トヨタ財団



▲ワイワイまつりで藪内さん作さばちゃんぬりえが楽しめます♪



よるカフェ

よる＝夜～寄る～縁る～出会い、つながり、生まれる・・・
はじまりのきっかけは、よるカフェ。
何かしたい思いがサポセンに集合！
市民活動参加のきっかけづくりや仲間づくりに。

いつもとは一味違う、よるカフェ団体企画「よるカフェ Month!」

よるカフェとは、夜、寄る、縁る・・・人が出会い、つながり、生まれ、始めるきっかけづくりとなる交流の場。よるカフェのコンセプトに合っていればテーマは自由。映画上映、コンサート、講演会、ワークショップ等どんなスタイルでもOK。ただし、会員や仲間内だけが参加するものはNG。一般の方が参加して、よるカフェをきっかけにサポセンから何か新しいものが生まれるようなときめき交流企画を募集したところ、3団体からの応募がありました。初めてのラジオドラマ、みんなでフォークを唄う、震災について学ぶ・・・団体企画ならではの、貴重な体験と交流ができました。



第10回 ラジオドラマを体験しよう～コメディに挑戦！

日時：11月21日(土) 18:00～20:00
場所：ちがさき市民活動サポートセンター
講師：清水 友美さん(湘南 SHOW 点)
参加者：27名(大人17名、子ども10名)

親子でラジオドラマ収録に挑戦！

グループでコメディの台本を朗読し、それを基に効果音も入れて録音編集。しかもその録音が実際のラジオで放送されるというとても面白い企画でした。

(録音したCDは後日サポセンにて参加者にプレゼント)

講師の清水さんは、現在FM湘南ナパサ「清水友美のLOVE湘南」のパーソナリティーであり、ピアニスト・シンガー・作曲家・ダンサー・女優・司会者としても活躍中です。

当日は、簡単なストレッチや発声練習から始まり、皆さん初めての体験にドキドキ。収録用マイクの前に立つと、とても緊張気味でした。しかし何回か練習するうちに、だんだんと台本の配役になりきっていました。終了後のアンケートでは、貴重な体験ができ子どもたちも大興奮でした。コメントや、次回も是非やってくださいとの声を多く頂きました。

ラジオドラマの放送は、11月末から12月にかけて、清水さんの番組の中で放送されました。実際に聞いてみると、プロの声優さんに負けない程の、とても素晴らしい出来栄でした。



第12回 懐かしのフォークを唄おう！

日時：11月28日(土) 18:30～20:30
場所：ちがさき市民活動サポートセンター
講師：矢嶋 望さん(まなびの市民講師)
参加者：9名

唄と一緒に、懐かしのあの頃へタイムスリップ



ギターを手に、昔懐かしいフォークや歌謡曲、童謡を織り交ぜ、リクエストにも応えてくれた矢嶋さん。

曲名を聞いただけではどんな歌かを忘れてしまった歌も、聞くと『あ、知ってる！知ってる！』と、当時の

出来事も一緒に思い出し、あの頃へタイムスリップして懐かしい気持ちになりました。

参加者のほとんどが60代、70代の方たち。久しぶりで声が出ないので発声方法も教えてほしい、もっと回数多く開催してほしい、唄い足りない等のご意見もありましたが、共に声を出して唄う楽しさを改めて感じ、心地よい時間を共有することができました。懐かしい曲を聞いて、穏やかな初冬の一夜を過ごしました。



第11回 防災☆ママカフェ@湘南茅ヶ崎

日時：11月27日(金) 10:30~13:00
場所：ちがさき市民活動サポートセンター
企画：防災スイッチオン！プロジェクト
内野義生さん
(じしんつなみどっとこむ 検索)
講師：かもん まゆさん、佐藤 敏郎さん
(SSPJ 特別講師)
参加者：20家族

その後、佐藤先生は、子どもたちの負担にならないか不安もあったけれど「気持ちにふたをするだけではだめだ」と考え、俳句作りの授業を行いました。

▶夢だけは 壊せなかった 大震災
▶見たことない 女川町を 受けとめる
(2011年女川一中生の句) 中学生たちの想いは、授業で作られた俳句とその背景を記されて単行本になっています。



「女川一中生の句 あの日から」小野智美=編 はとり文庫

第1部 ママのための防災トーク



講師のおひとり目は、かもんまゆさん。東日本大震災で被災されたママたちへの物資支援活動を機に、ママ支援コミュニティを設立。東北ママたちの協力を得て「防災ママブック」を企画・制作しています。

かもんさんご自身の経験に基づくお話の中で、特に大切だと感じたこと。

- ・2-3才になったら自分の命は自分で守ることを教えてください
- ・頑丈な5階以上の建物を普段から見つけておくこと
- ・大災害は日常を襲う
- ・地震は『いつか来るもの』ではなく、『来るもの』(東北ママからのメッセージ)



講師のおふたり目は、佐藤敏郎さん(女川第一中学校国語科教諭)。東日本大震災の時、宮城県石巻市立大川小学校で当時6年生だった次女を亡くされ、大切な人の命を守る防災講演を全国で続けています。

震災が起こったとき、迎えに来た保護者は「津波が来る、山に逃げて」と、子どもたちも「ここにいたら死ぬ」「山に逃げっぺ」と思っていたそうです。

しかし大川小学校は震災前、避難所に指定されていました。「山も、途中の道も強い地震で崩れてくるかもしれない」と思うと山に逃げる判断ができなかったそうです。「想定外は、あるものと思わなければいけない。訓練が必要」と語られました。

第2部 親子でチャレンジ！防災食試作&試食会

「子どもはまずいと食べない」

「食べられないものは食べない」

缶入りパンは、切り取ったフタで、きれいに4分割しました。もし避難所で分ける時に大きさが違うとトラブルの元になるからです。様々な防災食の工夫に驚きながら、楽しい試食タイム！

いのちの大切さをしっかりと伝え、必ず訪れる災害への備えを学びました。

参加者の声

- ・3.11の時は子どもがいなかったので、改めて子どもがいる場合の災害時の事を考えるいい機会になりました。
- ・災害が起きたらどうしようと思うばかりでしたが、自分で出来ることから始めようと思います。
- ・娘さんを亡くされお気持ちが複雑な中、私たちにお話しいただき大変ありがたく思いました。かもんさんの分かりやすく真剣な話も今後活かして行きたいです。
- ・娘の視点に立って、我が家の防災対策を見直してみようと思います。



2016年度も、よるカフェ団体企画大募集！

*一般の方が参加して、よるカフェをきっかけに、サポセンから何か新しいものが生まれるような、ときめき交流企画を募集します。サポセンで何かやってみたい団体は、ご相談ください！

NPO 運営 の アレコレ

「NPOの組織いろいろ」

市民活動は、たった一人の思いや関わりから始めることができます。一般にNPOという場合、多くの人が協力し合って社会的課題を解決しようとする組織を指し任意団体を含みます。法人格は団体として資産を持ったり、行政や企業と契約するときに必要になります。法人化に伴い、各種手続、報告や税務などの事務量は増加します。団体の性格によっては任意団体のまま自由に活動を続ける方がいいこともあります。よって、マンパワーも考慮して最適な組織形態を選ぶことが大切です。

ここでは、団体の信頼性を高めて資金を集める有益な道具となる「指定・認定NPO法人」をご紹介します。

▼ NPO 法人

一定の要件の審査後、所轄庁（都道府県や政令市）から「認証」を受けると、

- ・契約の主体になれます。
(事務所を借りる、銀行口座を開設し団体として財産を所有)
- ・情報公開が義務付けられているため透明性、信頼性が増します。
(毎年事業報告書等を提出)
- ・法的に義務が生じます。
(法や定款に則って運営)

▼ 指定 NPO 法人

市内で活動する「NPO法人」が、茅ヶ崎市に指定の申出をするには、事前に神奈川県での指定を受けた後、一定の要件の審査後、市議会の議決を経て、条例で個別に「指定」を受けることができます。県または市町村の条例で個別に指定された団体に寄付した人は、申告により地方税（個人住民税）の税額控除を受けることができます。

▼ 認定 NPO 法人

運営組織や事業活動が適正で、一定の基準を満たして「認定（仮認定）」を受けた「NPO法人」は、税制上の優遇が受けられます。認定された団体に寄付した人は、所得税や法人税などの国税が大幅に優遇されます。
※これからNPO法人設立を予定している団体は、認定取得も視野に入れた組織設計と事業展開をおすすめします。

平成 28 年度実施協働推進事業 実施候補団体が決定！

9月の「市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会」、12月の「公開プレゼンテーション、市民活動推進委員会による評価・審議」を経て、以下の8事業が内定しました。

市民提案型協働事業(4 事業)			
事業名	団体名	行政担当課名	総事業費(28 年度)
《子育て世代のための生涯学習交流サロン》の運営事業	ママ 04	文化生涯学習課	625,000
美術「みるっこ」プログラム	NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会	文化生涯学習課	1,187,000
「移動アトリエバス」を通して、世代間交流の実現と、子どもの無限の可能性と価値を認め合う時間と場所の創造事業	湘南こども創育プロジェクト	公民館 5 館	2,529,000
これから働きたいママのための起業・就業支援	うみのあお、そらのあお	男女共同参画課 雇用労働課	1,383,000

行政提案型協働推進事業(4 事業)			
事業名	団体名	行政担当課名	総事業費(28 年度)
ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信及び事業 PR	NPO 法人湘南スタイル	社会教育課	3,264,000
柳島キャンプ場協働運営事業	NPO 法人茅ヶ崎つなぐ海と森	公園緑地課	15,325,000
落書き防止、抑制のためのペイント事業	NPO 法人湘南スタイル	広域事業政策課	1,826,000
海岸利用におけるマナー啓発事業	サーフ 90 茅ヶ崎 ライフセービングクラブ	環境保全課 農業水産課 公園緑地課	425,000

平成 28 年度市民活動げんき基金補助事業 3/13(日)公開プレゼンテーション(ヒアリング)

高砂コミュニティセンター 3 階ホールにて開催予定。傍聴可。申請団体の応援、今後の参考にぜひご参加ください！

親子で楽しむ防災イベント「イザ！カエルキャラバン！」



阪神淡路大震災(1995年)から21年、東日本大震災(2011年)後4年が経ち、防災意識が薄れてきたのでは…？ちがさき市民活動サポートセンターでは家族や友だちと楽しみながら防災の知恵や技を学べる新しいカタチの防災イベント「イザ！カエルキャラバン！」(開発：NPO法人プラス・アーツ)を実施するための実技指導や備品貸出などを行っています。地域で若い防災力を育むために、PTAや子ども会のイベントと一緒に開催してもOK！お気軽にご相談ください。

▶9月27日(日) 主催：松林区子ども会 参加者80名 @松林小学校

実施プログラム：毛布で担架タイムトライアル・持ち出し品なあに？

クイズ・水消火器まもってゲーム・紙食器づくり・バケツリレー

▶10月31日(土) 主催：香川推進協 参加者223名 @香川小学校

実施プログラム：持ち出し品なあに？クイズ・紙食器づくり・とっさのひとこと



まち歩き音声ガイド 端末貸出 9/1~11/30@サポセン

GPS位置情報を利用した専用端末による「まち歩き音声ガイド」は、観光・まちづくり・高齢者福祉・学校教育現場など幅広い分野での活用が期待できます。私たちは他の市民団体等にも協力願い3つのコンテンツを用意。サポセンを含む市内4ヶ所に端末の貸出窓口を設置して、昨年秋、テストマーケティングを実施しました。市内外からの利用件数は111件。現在、9割以上の支持を得たアンケートの詳細分析結果を取り纏め中です。今後も市民ニーズの把握に努め、運営モデルの構築を行い、本システムのさらなる可能性について検証を続けていきます。(まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎 西村正雄さん)

★1/26(火)~2/1(月)「景観まちづくりウィーク・茅ヶ崎2」@新庁舎市民ふれあいプラザにて、好評につき再び「まち歩き音声ガイド」を貸出！



茅ヶ崎で活躍中のNPOを、追っかけレポート！！

さぼちゃんが行く！

げんき基金
補助団体 編

Team Aid for Japan~しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア (TAJ)

3.11後に市社協が実施したボランティアバスで復興支援に参加した人たちで作られた団体です。(2011年10月設立) その後も会員は増え続けています。会員数202名(2015/5現在)



仮設住宅にお住まいの方々に、お正月のお餅を届けて

ここかしら？お餅の入った袋を下げて初めてサポセンを訪れる方が…。今年で5回目となる年末の光景です。

これは、東日本大震災で被災され南三陸戸倉地区の仮設住宅に今もお住まいの方々にお正月のお餅を届ける活動で、サポセンを含む市内3か所で集荷しました。

お餅集めのPRと共に駅前募金活動も行います。

今年の募金活動には、サポセンのインターン生も参加。「募金と一緒に元気も頂いた気がします。」と感想を聞かせてくれました。



元気に笑顔になってもらいたい！

現役社会人が多いTAJは、仕事や生活に忙しい中、それぞれの“思い”に突き動かされて活動しています。

震災後、初めはガレキ撤去や漁業関連の力仕事だったけれど、楽しみが少ない方々に元気になってもらいたいと交流会を企画。「宮城から出たことがない人もいる」「いつも茅ヶ崎から来てくれる、茅ヶ崎に行ってみよう」との声

を聞いて、「8月の茅ヶ崎の花火大会に現地の方々を招こう！」「バスで来てもらおう！」「キャンプ場なら実現できる！」と、その年により赤い羽根やげんき基金の助成を受けながら駅前での募金活動で資金を集め、これまでに3回の交流会を実現させてきました。

南三陸に行く、茅ヶ崎に招く、南三陸でまた交流する。「回を重ねることで、ボランティアでなく、親戚の家に遊びに行くような感覚になっている！」そう話してくれたのはお餅担当の平野さん。

今後の活動

これからの活動について代表久我さんの言葉です。「TAJは設立から丸4年がすぎました。東北の状況は日々変わって来ていますが、私たちはこれからも支援の形を変え、出来る人が出来る時に出来る時間だけを合言葉に、メンバーで活動をしていきたいと考えています。今年もサポセンまつりに参加するので遊びに来てください。」《サポセン☆ワイワイまつりでも、どのブースよりも大きな声のTAJ、今年の参加も楽しみです!!》

OTHER NEWS

生涯現役応援窓口 ～セカンドライフをデザイン！



市役所新庁舎 1 階にて、毎週火・木・金曜日の 9:30～15:00、セカンドライフコンシェルジュ(専門相談員)が活躍の場を一緒に探します。
運営：茅ヶ崎市シルバー人材センター

NET119 緊急通報システム 利用者登録開始！



聴覚障害などの理由で、電話を利用して音声による 119 番通報が困難な方のシステムです。携帯電話やスマホで素早く消防に通報できます。
問合せ：茅ヶ崎市消防本部指令情報課

広報掲示板が設置されました！



サポセンの入口、花壇の一角に、市の広報掲示板が新たに設置されました。もっと市民に愛されるサポセンを目指して、イベント開催案内など、道行く人にお知らせします。

マイナンバー（法人番号）



法人登録されている団体・NPO へ国税庁から「法人番号指定通知書」が郵送されます。事務所以外で代表者の住所に送られる場合がありますので必ずご確認を！保管の徹底も！

ちがさきサポセン☆ ワイワイまつり 2/27(土)開催



メイン会場の中央公園とサブ会場のサポセン、2会場で開催！いろいろ楽しめる市民活動のおまつりです。
* Facebook にて最新情報発信中！

運営ボランティア大募集！

外からだけでは味わえない、まつりの楽しさを体感しませんか？
* 詳細はサポセン窓口または HP にて！

ABOUT US

▶ちがさき市民活動サポートセンターとは

市民活動団体や NPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちがこれから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。



▶開館時間 9:30～21:30

▶休館日 毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)

▶アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度
駐車場 10 台程度 駐輪場あり

▶連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7
TEL/FAX: 0467-88-7546
Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp
ホームページ: <http://sapocen.net/>

▶指定管理者 特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき
(指定管理期間: 2013 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

